

IP 無線を導入して良かったこと

“1分1秒を争うような場面でも、 遅延なくレスポンスのスムーズな連携が可能

製造

焙煎工場



製造現場なので1分1秒を争うようなシーンがあり、遅延がなくレスポンスのスムーズな連携が取れるようになりました。

衛生度を管理している部屋は、人の出入りが制限されているので、Buddycomを使ったコミュニケーションがとても役立っています。

また、アプリが導入できて利用できるバージョンさえ合っていれば、スマートフォンの選択肢が幅広くあり選定しやすかったです。

選択肢が沢山あるので使い勝手がよく、ワイヤレスのヘッドセットを使ったり、イヤホンジャックでスピーカーとマイクをつないで卓上で使ったり、自分たちで色々カスタマイズして活用することができる汎用性の高さが非常にいいなと思います。



導入前の課題

以前、狛江にあった焙煎工場では、壁や仕切りがなかったため特に課題はありませんでしたが、今回横浜に新築で建てたこの焙煎工場では、清潔度に応じて作業スペースを区画しております。保管庫側の作業者と加工側の作業者は綿密に連携する必要があり、区画が壁で仕切られている中、直接コミュニケーションが取れないという問題がありました。

導入した理由

壁で仕切られた作業スペースごとに何かしら通信の仕組みが必要であり、工場の無線 LAN を活用でき拡張性のある、IP トランシーバーのようなものを探していました。そこで、複数の IP インカムアプリを検証しましたが、ユーザーインターフェースが非常にシンプルでわかりやすく、使いやすいと感じた Buddycom の導入を決めました。



作業場によって使い方を工夫し、 カスタマイズして利用。 周辺機器も自分たちで選定、検証。

焙煎室などでは雑音が激しかったりもするので、ノイズキャンセリング機能付きのイヤホンマイク等を購入し、検証。相性などで動作しなかったり、PTT が効かないものもあって苦労しましたが、PTT が効かなくても Buddycom を使えるよう、最適な活用方法を独自で編み出しました。例えば、イヤホンマイクで話を聞き、発話するときはアプリの通話ボタンを押しながらイヤホンマイクで話すことにより、イヤホンマイクの PTT が効かなくても通話を可能にしました。

単純なトランシーバーだと周辺機器を組み合わせたりだとか、なかなか難しいと思います。作業者に応じて環境も違い、行う作業も違うので、それに対応した使い方をしたいと思っており、最初はそこまで想定はしていませんでしたが、焙煎工場での働き方を構築していく中で、ああ、Buddycom って使いやすいんだと分かってきました。



導入検討中の方へメッセージ

WEB 検索し、トライアルからはじめました。iOS と Android どちらでも使い、iPod や iPad にも対応しているので、導入しやすかったです。



個人的にオススメできる点

カスタマイズの汎用性が高く、それぞれの現場・利用シーンに合わせて、幅広く使えると思うのでオススメです。



株式会社サイエンスアーツ

WEB: www.science-arts.com
Service: www.buddycom.net
お問い合わせ: info@science-arts.com

